



青南だより

令和2年 冬休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<歌や合奏を聞いてもらいたい！>

子どもたちは、11月末のハンドベルコンサートのすてきな演奏や異学年間の刺激もあり、どの学級でも歌や楽器遊びを楽しんできていました。特に年長児は、長い歌詞を覚えてとてもきれいに歌えるので、感心していることを素直に伝えていました。そんな自信を付けてきた年長児から「コンサートをしたいけれど、できますか？」という要望を受けて、17日に音楽会を実施することにしました。プログラムは、魔法を使ってその日のうちに作って、配れるようにしました。

<無事に開催できた音楽会>

年少児は、ドングリを使って手作りしたマラカスを使って伸び伸びと楽しみました。年中児は、3つの楽器を使って、分かりやすい打ち方を安心して演奏しました。年長児は学年での実施だったため2回公演を頑張りました。今年の音楽会は、親子フェスタよりもさらに少人数で、換気等の感染予防を徹底しての実施となりました。ほとんどの方が徒歩で来園くださったことも、音楽会の成功を支えてくれた要因の一つでした。改めて、保護者の皆様のご協力に感謝します。

<冬でも自然との関わりは多様に>

身近な自然を遊びや生活に生かす保育は、青南幼稚園の得意技になっています。ずっと楽しみにしていた柿を収穫した日、その柿を数える場面は、必要感から生まれた学びの機会でありジャガイモを数えたときの学びの応用でした。かえでの根っこを守る工事、ワクワク池の水が無くなっていることを心配した子たちが、池の泥をかき出したり、みんなで知恵を絞って水を運んだりする動きなど、生き物が少ない冬でも自然と関わる豊かな取り組みは途絶えることはありません。

<安全・安心はみんなの力で>

音楽会の午後、滑り台のところに学年毎に集まって、全園児に安全指導を行いました。園庭は子どもたちが安心して遊べる場所ですが、使い方を守らなければ危ないこともあります。このところ保育中も園庭開放中も、危ない遊び方をする姿が目立ち、緊急に園長からの特別指導を行うことにした次第です。

特に園庭開放時は、大人も子どももちょっと気持ちが緩みがちで、ケガも頻発しています。マナーやルールを守ることはみんなのためでもあり、自分のためでもあります。保護者の皆さんの適切な見守りと声掛けをどうぞよろしくお願いいたします。



すてきなハンドベルコンサートが大きな刺激に



音楽会を一緒にやろうよと、年長児から誘い掛け



初めての舞台も手作り楽器で楽しい場



裏庭の柿は10個ずつ数えてみると130個も！



みんなの行動は小さい子のお手本だよ